

デーリー東北

2025年(令和7年)11月13日(木曜日) (14)

不便な場所 歩いて確認

バリアフリー化に向け、市役所周辺の環境を調査する参加者



市役所周辺バリアフリー化へ

車いす利用者ら調査

三沢

三沢市で11日、公共施設が集積する市役所周辺のバリアフリー化に向けた「まちあるき点検調査」が行われた。市が2021年3月に策定した「移動等円滑化促進方針（バリアフリーマスタープラン）」が本年度で期間満了となることから、内容の見直しに向けた取り組み。参加した関係者約20人が現地調査を実施し、高齢者や障害者にとって不便になっている場所などを確認した。（上村公悟）

市は障害などの有無に「歩道が水平ではない」
「かかわらず、誰もが暮ら
などさまざまな課題が挙
しやす」「共生社会」の
がった。

実現を掲げ、同プランを
策定。5年ごとに内容を
見直すこととしている。
9月下旬には行政や福

祉、交通関係者らで構成
する市移動等円滑化促進
協議会の本年度1回目の
協議を開催。11日の調査

には協議会の委員や車い
す利用者が参加し、2
班に分かれて市役所周辺

を調査した。八戸工業大
の学生も協力した。
調査後は意見が集約さ

れ、「スロープの勾配が
急」「側溝の穴が大きい」
ンを見直す。

調査で上がった意見の
ほか、市民アンケートや
パブリックコメントなど
の結果も踏まえて、プラ

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。